

令和7年度 学校経営計画・学校評価

■4月8日(火)提出

■10月2日(木)提出

■3月13日(金)提出

学校番号 16 高知工業 高等学校 課程 定

高知県の教育の基本理念	(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3) 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人	スクール・ミッション	様々な生活スタイルや学習のニーズを持つ生徒に対応し、主体性や社会性を育成するとともに、生徒一人一人の多様な進路実現を図る。
スクール・ポリシー	【アドミッション・ポリシー】(入学者受け入れ方針) ○地場産業での貢献を目指す人物を求めます。 ○感性が豊かで協調性があり、年齢に関係なく学び合える人物を求めます。 ○自身を振り返り、新たな挑戦の場としてスタートが切れる人物を求めます。 【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力) ○主体的に学ぶ姿勢を磨き、専門高校として学問と技術を培います。 ○縦断的且つ横断的な教育を展開し、健全で豊かな精神を鍛えます。 ○郷土に誇りを持ち、グローバル社会を生き抜く人材を育てます。	【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針) ○実社会で活きる資格の取得を目指し、教科横断的な学びを展開します。 ○主体性と協働性を磨くため、生徒会活動の充実を図ります。 ○社会性を磨くため、多分野で活躍する講師を招いた事業を展開します。	動きながら学ぶことや学び直し、資格取得に向けた教育活動など、生徒に寄り添い支援し、企業との連携やデジタル化に対応した実践的な工業教育を行うことで、産業界を担う人材を育成する。
校訓(教育目標/方針) 「磨け学技 鍛えよ体徳 誇れ郷土」			

学校関係者評価	
【学力の向上】 評価	【 B 】
全校生徒の約半数が新入生のため、資格検定の取得率は目標値を下回ったが、学校評価アンケート結果や「将来の可能性を広げるために勉強を頑張っている」生徒の割合が昨年度より増えているので、今後に期待ができる。良い結果に結びつくように、引き続き生徒個々の意欲を引き出してほしい。	
【社会性の育成】 評価	【 A 】
学校生活において様々な年代の生徒同士が交流できる場を設けており、互いに認め合うことで社会性の育成が図られている。より人間関係や自己肯定感の向上を目指して、各事業のレベルアップや新しい試みにチャレンジしてもらいたい。	
【チーム学校】 評価	【 A 】
コンテスト入賞や発表会等、充実した活動が多数あり評価できる。また、不祥事防止への取組や働き方改革もしっかりと取り組んでいる。特に、ものづくり教室や地域貢献活動は、工業高校の特徴を生かすことができる素晴らしい取組なので、さらに充実を図ってもらいたい。	

(評価)A: 目標を十分に達成 B: 目標をほぼ達成 C: やや不十分 D: 不十分

重点項目	育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】	
								学力の向上
重点項目	★確かな学力 ○基礎となる知識・技能 ○思考力、判断力、表現力 ○生涯にわたって学び続ける意欲 ★自己の将来とのつながりを見通した学び ○社会の形成に主体的に参画するために必要な資質・能力 ○キャリアデザイン力(やりぬく力)	○資格検定試験 ・合格率(取得者数/受験者数)70%以上(R6:75%) ・取得率(取得延べ人数/生徒総数)70%以上(R6:78%) ○生徒アンケート(肯定的回答) 「将来の可能性を広げるために勉強を頑張っている」80%以上(R6:78%)	○自主性を高め基礎知識・技能の定着を図り、資格・検定へ積極的に挑戦 ○キャリア教育(キャリアノート)の活用、同窓生によるキャリア講話、進路通信等)の推進 ○全校一斉の基礎学力試験の実施(5回/年)	A	○資格検定試験 ほとんどの資格が、年末に試験を控えており中間評価なし ○生徒アンケート(肯定的回答) 「将来の可能性を広げるために勉強を頑張っている」91%(R6:78%)	○電気工士1・2種(12月)、土木施工管理技士補2級(10月)、建築・電気施工管理技士補2級(11月)等 ○学ぶ姿勢づくりと振り返り ・OBキャリア講座(10月)、公開授業(9月~12月)、全校一斉基礎学力試験(11月・1月)	○資格検定試験 ・合格率(取得者数/受験者数)57%(R6:75%) ・取得率(取得延べ人数/生徒総数)43%(R6:78%) ○生徒アンケート(肯定的回答) 「将来の可能性を広げるために勉強を頑張っている」83%(R6:78%)	新入生の割合(29/60人)が高いため、資格・検定の取得率は低調となったが、将来の可能性を広げるために学習に励む生徒の割合は、昨年度より高くなっている。次年度以降に期待したい。
	★豊かな心、多様性・包摂性の尊重 ○豊かな人間性・道徳性・社会性 ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	○生徒アンケート(肯定的回答) ・自己肯定感・社会性(基礎)に関する質問70%以上(R6:67%) ・「立場や年齢、考え方の異なる相手でも、その意見を聞き、理解しようとしている」85%以上(R6:93%)	○つながり教育の推進 ・ホームデイ(縦断的な人間関係づくり) ・ホームマッチ(横断的な人間関係づくり) ・「立場や年齢、考え方の異なる相手でも、その意見を聞き、理解しようとしている」93%(R6:93%) ・地域貢献活動、補習(学び合い)等	B	○ホームデイ(10月)、ホームマッチ(12月)、生徒会主催遠足(12月)、校門指導(毎日)、地域貢献活動(10月・1月)、人権LH「生徒・教員による座談会」(12月)等	○生徒アンケート(肯定的回答) ・自己肯定感・社会性(基礎)に関する質問 62%(R6:67%) ・「立場や年齢、考え方の異なる相手でも、その意見を聞き、理解しようとしている」86%(R6:93%)	今年度は「生徒・教員による座談会」を実施し、事後の振り返りからも成果を確認できた。次年度も様々な事業を通して道徳性・社会性の育成を図りたい。	
取組項目	【取組のねらい】 ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携	○生徒アンケート(肯定的回答) 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」70%以上(R6:64%) ○校外(地域等)連携事業の推進 実施回数5回以上(R6:10回)	○地域イベントにおけるものづくり体験教室の運営 ○外部講師招へい事業 ○防災教育事業等	B	○生徒アンケート(肯定的回答) 「地域や社会をよくするために…」67%(R6:64%) ○校外(地域等)連携事業の推進 実施回数2回:建築科、土木科(R6:10回)	○かまど(防災)ベンチ製作:高知市長浜(年間) ○ものづくり体験ブース:こうち建設フェア(10月) ○外部講師(企業)招へい事業:電気科(1月)等	○生徒アンケート(肯定的回答) 「地域や社会をよくするために…」61%(R6:64%) ○校外(地域等)連携事業の推進 実施回数:8回(R6:10回)	校外との連携事業回数は目標達成できているので、取り組んでいる事業が地域や社会へとつながっていることを分かり易く伝えていきたい。
	【取組のねらい】 ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結びつける力の育成	○生徒アンケート(肯定的回答) 社会性(コミュニケーション能力・キャリアデザイン能力)に関する8つの質問 平均値75%以上(R6:82%)	○4年生「課題研究」における成果発表会(全工業科) ○各教科における発表(または表現)活動の充実	B	○生徒アンケート(肯定的回答) 社会性(コミュニケーション能力・キャリアデザイン能力)に関する8つの質問 平均値83%(R6:82%)	○4年生「課題研究」における全工業科成果発表会(12月~2月) ○各教科における発表(または表現)活動の充実(年間)	○生徒アンケート(肯定的回答) 社会性(コミュニケーション能力・キャリアデザイン能力)に関する8つの質問 平均値81%(R6:82%) ○全専門科において課題研究発表会を開催	昨年度に引き続き、全専門科において課題研究発表会を実施できた。次年度は、更なるステップとして合同発表会を企画したい。

チーム学校	取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】	
								学校の振興
チーム学校	★学校の魅力化 ○ものづくりスキルを育てる工業教育の実践 ○校外での活動をもとに、新たなスキルを身に付ける。	○国家資格の取得合格率60%(R6:62%) ○全国規模の大会への出場1回(R6:全国大会入賞1回) ○地域貢献活動2回(R6:ものづくり教室運営1回)	○資格指導強化に向けた教員研修 ○難易度が高い国家資格へ向けた指導体制の充実(授業外の補習等) ○各専門科の魅力を活かした各種コンテスト等への挑戦	B	○国家資格の取得合格率 年末に試験:中間評価なし ○全国規模の大会への出場1回:バスケットボール部(R6:1回) ○地域貢献活動1回:土木科(R6:1回)	○電気工士1・2種(12月)、土木施工管理技士補2級(10月)、建築・電気施工管理技士補2級(11月)等 ○建設技術展2025近畿 橋梁模型製作コンテスト(11月)等	○国家資格合格率61% ○全国大会への出場2回:バスケットボール部、土木技術部(入賞4名) ○地域貢献活動3回:ものづくり教室、防災ベンチ製作、清掃ボランティア	国家資格合格率も目標を達成し、部活動や地域貢献活動での成果があった。次年度は、より自主性を高めて学校の振興を図りたい。
	★教職員の倫理観の堅持 ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応	★「不祥事撲滅」 発生件数 R7:なし(R6:なし) ○校内研修の実施 R7:4回(R6:5回) ○不祥事防止委員会の開催 R7:4回(R6:4回)	○不祥事根絶へ向けた取組の充実 ・注意喚起、服務通信の発行 ・個人や集団としての倫理観の向上を目指した研修	A	★「不祥事撲滅」 発生件数 R7:なし(R6:なし) ○校内研修の実施 R7:5回(R6:5回) ○不祥事防止委員会の開催 R7:3回(R6:4回)	○不祥事根絶へ向けた取組の充実 全国及び高知県の不祥事案を踏まえた校内研及び注意喚起	★「不祥事撲滅」 発生件数 R7:なし(R6:なし) ○校内研修の実施 R7:8回(R6:5回) ○不祥事防止委員会の開催 R7:7回(R6:4回)	昨年度以上に、不祥事撲滅に向けた資料づくりや研修が実施できたので次年度も継続したい。
	★長時間勤務の解消 ○業務の平準化 ○教員数の減員への対応	○長時間勤務者(月45時間以上)数 R7:0名(R6:2名) ○職種(時間短縮勤務等)に応じた組織の構築	○部活動数の見直し ○ホーム担任数の改編 ○分掌業務の見直しと明確化	B	○長時間勤務者(月45時間以上)数 R7:1名(R6:2名) ○職種(時間短縮勤務等)に応じた組織の構築	長時間勤務者はものづくり全国大会の課題(機密文書)作成担当者のため不可避であるため、他の業務を調整し対応したい。	○長時間勤務者(月45時間以上)数 R7:1名(R6:2名) ○職種(時間短縮勤務者(16:45出勤者)は、ホーム担任や教科主任業務からは除く。	次年度からは、校時やホーム編成等の見直しによって、業務の平準化を図りたい。